

貸借対照表
(2019年 3月31日現在)

2019年6月27日

宮崎市松山1丁目1番1号
株式会社宮崎観光ホテル
(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	429,464	流動負債	1,899,895
現金及び預金	118,985	買掛金	94,099
売掛金	134,976	短期借入金	1,555,643
商品	5,696	未払金	107,441
材料	22,084	未払費用	52,890
貯蔵品	31,926	未払法人税等	1,158
前払費用	14,895	未払消費税等	20,311
未収金	85,867	預り金	32,401
その他の流動資産	155	賞与引当金	17,109
繰延税金資産	14,891	その他の流動負債	15,892
貸倒引当金	△13	リース債務	2,948
固定資産	7,194,868	固定負債	3,188,957
有形固定資産	7,095,156	長期借入金	2,968,845
建築物	3,200,133	預り保証金	47,000
構築物	149,046	退職給付引当金	119,470
機械及び装置	44,186	ポイント引当金	8,683
車両運搬具	0	繰延税金負債	44,957
工具器具備品	94,403		
土地	3,567,308		
リース資産	2,948		
建設仮勘定	37,129		
無形固定資産	7,464	負債合計	5,088,853
ソフトウェア	3,562	【純資産の部】	
電話加入権	1,321	株主資本	2,530,865
その他の無形固定資産	2,580	資本金	100,000
投資その他の資産	92,248	資本剰余金	2,035,748
投資有価証券	77,121	資本準備金	2,000,000
出資金	517	その他資本剰余金	35,748
破産更生債権等	10,336	利益剰余金	395,270
長期前払費用	3,806	その他利益剰余金	395,270
その他の投資	22,653	固定資産圧縮積立金	165,936
貸倒引当金	△22,186	繰越利益剰余金	229,333
		自己株式	△153
		評価・換算差額等	4,615
		その他有価証券評価差額金	4,615
		純資産合計	2,535,480
資産合計	7,624,333	負債・純資産合計	7,624,333

(個別注記表)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① その他有価証券のうち時価のあるものの評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。
なお、評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定している。
- ② その他有価証券のうち時価のないものの評価は、総平均法による原価法によっている。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）
定額法を採用している。
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）
定額法を採用している。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっている。
- ③ リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金 …… 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- ② 賞与引当金 …… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上している。
- ③ 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備え、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。
- ④ ポイント引当金 …… ホテルの利用促進を目的とするポイント制度に基づき、ポイントカード利用者に付与したポイントの使用による費用負担に備えるため、当事業年度末における将来使用されると見込まれる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類および株式数

当事業年度末における発行済株式の種類および株式数
普通株式 42,782株

(2) 自己株式の種類および株式数

当事業年度末における自己株式の種類および株式数
普通株式 1.2株

3. 当期純損益金額

当期純利益 86,190千円

4. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。